

# 地域貢献に関する情報開示

平成20年12月

株式会社 青森銀行

## 目 次

	( 頁 )
地域貢献について	・・・・・・・・ 1
. 地域貢献に関する考え方	
. 地域貢献に関する取組み状況	・・・・・・・・ 2
1 . 地域への信用供与の状況	
( 1 ) 貸出業務全般の状況	
貸出金残高	
県内向け貸出金残高、シェア	
業種別貸出金残高、貸出先数および各シェア	
県内向け業種別貸出金残高、貸出先数および各シェア	
( 2 ) 中小企業向け貸出業務の状況	・・・・・・・・ 3
中小企業向け貸出金残高、シェア	
中小企業向け貸出先数	
中小企業向け融資商品の提供内容と個人保証に過度に 依存しない融資残高の公表について	・・・・・・・・ 4
青森県信用保証協会保証付貸出金残高、シェア	・・・・・・・・ 5
地方公共団体の制度融資への取組み状況	
( 3 ) 個人向け貸出業務の状況	・・・・・・・・ 6
個人ローン残高、件数	
貸出金残高に占める個人ローン残高、シェア	
うち住宅関連融資残高、件数	
うち消費者ローン残高、件数	
県内の個人ローン残高、件数	・・・・・・・・ 7
県内向け貸出金残高に占める県内の個人ローン残高、シェア	
うち住宅関連融資残高、件数	
うち消費者ローン残高、件数	
個人向けローン商品の提供内容	
2 . 地域のお客さまへの利便性提供の状況	
( 1 ) お客さま接点の状況	
店舗の状況	・・・・・・・・ 8
A T Mの状況	・・・ 9、10
ダイレクトチャネルの展開	・・・ 10、11

( 2 ) 預金業務等の状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 2
総預金残高	
個人預金残高、シェア	
県内の総預金残高、シェア	
県内の個人預金残高、シェア	
預り資産残高、件数	・ ・ ・ ・ ・ 1 3
うち公共債	
うち投資信託	
うち個人年金・年金払積立傷害保険	
県内の預り資産残高、件数	・ ・ ・ ・ ・ 1 4
うち公共債	
うち投資信託	
うち個人年金・年金払積立傷害保険	
地域のお客さまへの利便性提供に資する取組み状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 5
( 3 ) 子会社等を通じた利便性提供の状況	・ ・ 1 5、1 6
3 . 地域経済活性化への取組み状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 7
( 1 ) 地元企業に対する経営サポートの状況	
地元企業の経営相談等への取組み状況	
地元企業の再生への取組み状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 9
( 2 ) 企業育成への取組み状況	
( 3 ) 地方公共団体の事業との関係	・ ・ ・ ・ ・ 2 0
4 . 地域への各種支援活動の状況	・ ・ ・ ・ ・ 2 1
5 . 創業 1 3 0 周年記念事業	・ ・ ・ ・ ・ 2 3

## 地域貢献について

本資料は、地域貢献に関する当行の基本的な考え方を示し、「地域への信用供与の状況」「地域のお客さまへの利便性提供の状況」「地域経済活性化への取組み状況」「地域への支援活動の状況」などの取組み状況について、具体的に開示したものです。

今後とも、地域の皆さまのために、より充実した情報開示に努めてまいります。

### ・地域貢献に関する考え方

当行は、青森県を主要な営業基盤とする地域金融機関として、「地域のために お客さまとともに 人を大切に」の企業理念の下、地域社会の繁栄と地域経済の発展に寄与することが重要なテーマであると認識しております。

具体的には、経営の健全性を確保しつつ、本業である銀行業務を通じて、地域の皆さまへの円滑な資金供給と良質な金融サービスを提供していくほか、中小企業の経営支援など、地域経済活性化に向け取り組んでいくことが地域貢献のあり方だと考えています。

また、地域社会に根ざした良き企業市民として社会責任を果たすことも重要であると考え、学術・文化・スポーツ振興支援や社会福祉、環境保護活動などさまざまな分野で地域社会に貢献してまいります。

「地域」とは・・・当行が主要な営業基盤としている「青森県」を指しています。

なお、預貸金の「県内」の記載数値は青森県内に店舗を構える営業店のみの合計値です。

## ・地域貢献に関する取組み状況

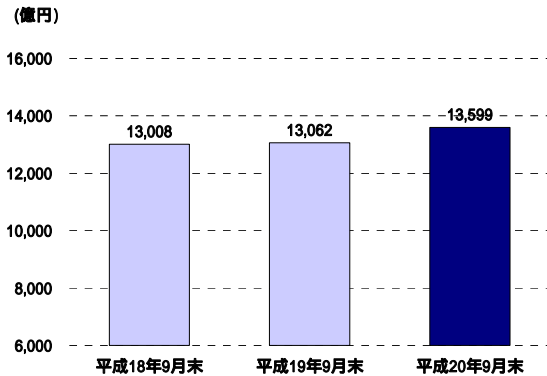
記載金額は表示している単位未満を切り捨てています。

また、構成比率その他の比率は、表示している単位未満を切り捨てています。

### 1. 地域への信用供与の状況

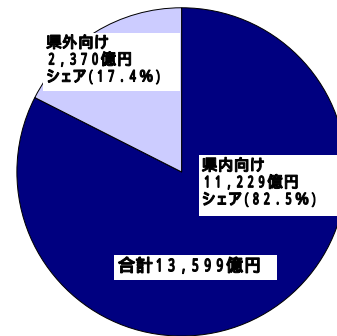
#### (1) 貸出業務全般の状況

##### 貸出金残高



平成20年9月末の貸出金は、前年同月比4.1%増加し1兆3,599億円となりました。

##### 県内向け貸出金残高シェア (平成20年9月末)



地元青森県内への貸出金は1兆1,229億円であり、貸出金全体の82.5%を占めています。

##### 業種別貸出金残高、 貸出先数及び各シェア (平成20年9月末)

業種別貸出金残高	残高 (百万円)	残高シェア (%)	先数 (件)	先数シェア (%)
製造業	130,524	9.5	1,031	0.9
農業	4,789	0.3	922	0.8
林業	271	0.0	28	0.0
漁業	4,913	0.3	150	0.1
鉱業	104	0.0	3	0.0
建設業	60,134	4.4	2,484	2.3
電気・ガス・熱供給業	28,535	2.0	13	0.0
情報通信業	10,730	0.7	84	0.0
運輸業	39,326	2.8	365	0.3
卸売・小売業	156,852	11.5	2,871	2.7
金融・保険業	54,737	4.0	225	0.2
不動産業	83,738	6.1	1,622	1.5
各種サービス業	177,656	13.0	4,329	4.0
政府・地方公共団体	320,626	23.5	63	0.0
個人	287,023	21.1	91,648	86.5
合計	1,359,966	100.0	105,838	100.0

貸出金全体でみる業種別残高シェアは、政府・地方公共団体23.5%、個人21.1%の合計が全体の4割強を占め、次いで各種サービス業13.0%、卸売・小売業11.5%、製造業9.5%と続きます。貸出先数シェアでは、個人が86.5%と全体の約9割を占めています。

##### 県内向け業種別貸出金残高、 貸出先数及び各シェア (平成20年9月末)

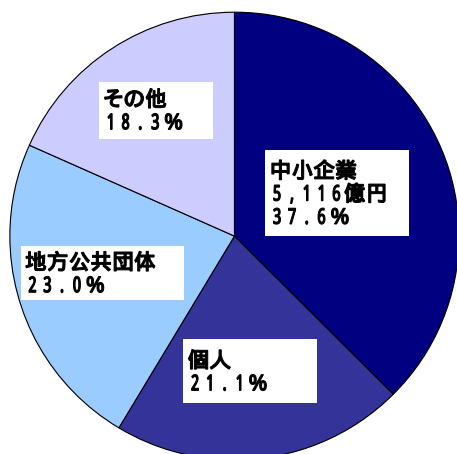
業種別貸出金残高	残高 (百万円)	残高シェア (%)	先数 (件)	先数シェア (%)
製造業	65,729	5.8	888	0.8
農業	4,773	0.4	919	0.9
林業	272	0.0	27	0.0
漁業	4,892	0.4	144	0.1
鉱業	105	0.0	3	0.0
建設業	51,667	4.6	2,362	2.3
電気・ガス・熱供給業	22,861	2.0	10	0.0
情報通信業	5,183	0.4	73	0.0
運輸業	31,596	2.8	340	0.3
卸売・小売業	119,683	10.6	2,645	2.6
金融・保険業	12,573	1.1	183	0.1
不動産業	71,120	6.3	1,467	1.4
各種サービス業	147,646	13.1	3,976	3.9
政府・地方公共団体	312,446	27.8	58	0.0
個人	272,406	24.2	88,215	87.0
合計	1,122,950	100.0	101,310	100.0

県内向け貸出金残高に占める業種別残高シェアは、政府・地方公共団体が27.8%、個人24.2%、各種サービス業13.1%など貸出金全体でみた場合と大きな変化はありません。貸出先数でも同様です。

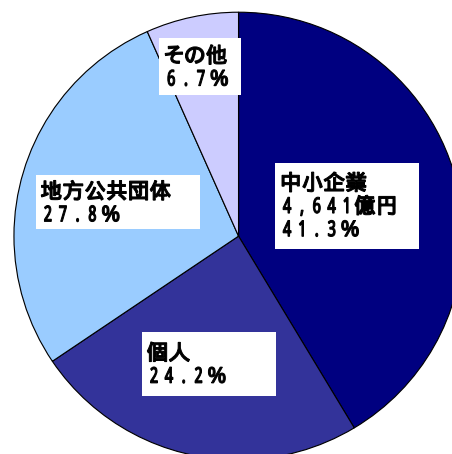
## (2) 中小企業向け貸出業務の状況

### 中小企業向け貸出金残高、シェア

中小企業向け貸出金残高・シェア  
(平成20年9月末)



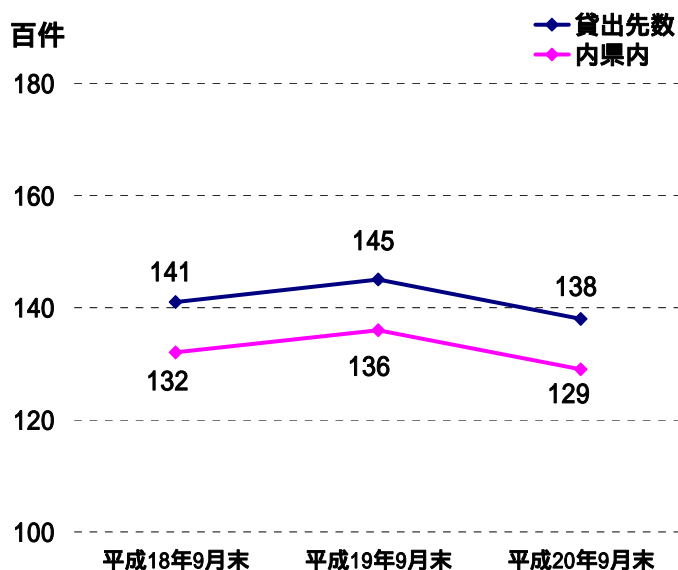
県内中小企業向け貸出金残高・シェア  
(平成20年9月末)



当行の貸出金全体に占める中小企業向け貸出金のシェアは37.6%であり、県内向けでは、41.3%のシェアとなっています。

### 中小企業向け貸出先数

中小企業とは・・・資本金3億円以下、または常用従業員300人以下の企業規模の法人および個人事業主のことです。但し、資本金については、卸売業が1億円以下、小売業、飲食店、各種サービス(飲食店を除く)は50百万円以下、常用従業員については、卸売業、各種サービス(飲食店を除く)が100人以下、小売業、飲食店は50人以下の企業規模の法人および個人事業主のことをいいます。



## 中小企業向け融資商品の提供内容と個人保証に 過度に依存しない融資残高の公表について

お客様の資金調達ニーズの多様化に合わせてとともに、個人保証に過度に依存しない各種商品をご用意しています。これからも、お客様の声にお応えするために、商品ラインナップの充実に務めてまいります。

### 中小企業向け融資商品一覧

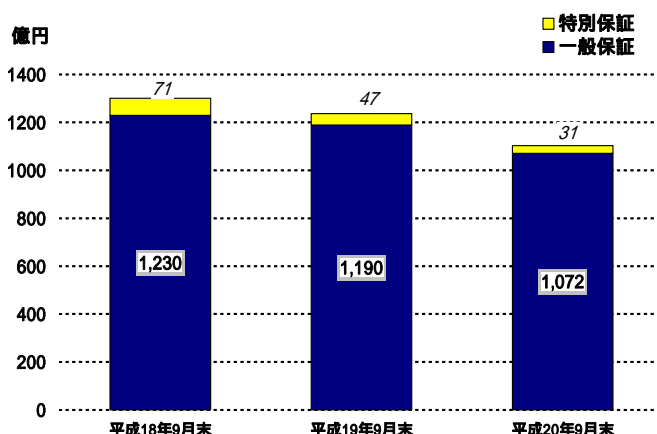
種類	内容	ご融資金額	ご融資期間
あおぎん バックアップローン (スコアリングモデル)	信用保証協会の保証を受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。最高3,000万円まで無担保・第三者保証人不要の条件で、原則3営業日以内にご回答します。	最高3,000万円	運転資金・・・ 5年以内 設備資金・・・ 7年以内
あおぎん スピードローン (スコアリングモデル)	業歴3年以上でオリックス(株)の保証を受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要の条件で、最短2営業日以内にご回答します。	100万円以上 3,000万円以内 (10万円単位)	5年以内
あおぎん ビジネスローン デュオ	業歴2年以上の法人および個人事業主の方にご利用いただけます。原則無担保・第三者保証人不要の条件で、中小企業を支援します。	100万円以上 1億円以内 (10万円単位)	7年以内
あおぎん TKC戦略経営者ローン (スコアリングモデル)	設立3年以上でTKC会員と顧問契約締結1年以上の法人にご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要の条件で、中小企業を支援します。	100万円以上 2,000万円以内 (10万円単位)	運転資金・・・ 5年以内
あおぎん デュアルサポートローン (コベナンツ)	青森県内に本店所在地がある業歴2年以上かつ年商30億円未満で、三菱東京UFJ銀行の審査承認が受けられる法人にご利用いただけます。最高1億円まで原則無担保・第三者保証人不要の条件で、県内企業を支援します。	2,000万円以上 1億円以内	5年以内
あおぎん 車両担保ローン 「ビジネスウェイ」 (動産担保)	業歴3年以上でオリックス自動車(株)の保証が受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。購入車両または既存所有車両を担保に、最高1億円まで第三者保証人不要の条件で、中小企業を支援します。	100万円以上 1億円以内	7年以内
あおぎん スピードチャージ (スコアリングモデル)	業歴2年以上で青森県信用保証協会の保証を受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。最高3,000万円まで原則無担保・第三者保証人不要の条件で、最短即日ご回答いたします。	3,000万円以内	運転資金・・・ 10年以内 設備資金・・・ 15年以内

### 個人保証に過度に依存しない融資 (平成20年9月末残高)

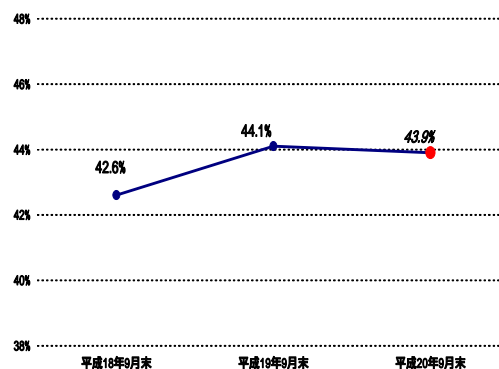
区分	件数	残高
コベナンツ(財務制限条項)を活用した融資	2件	40百万円
スコアリングモデル(財務評点)を活用した融資	903件	5,475百万円
動産・債権譲渡担保融資	0件	0百万円
知的財産担保融資	0件	0百万円
(その他)当行格付を活用した融資	688件	8,930百万円

## 青森県信用保証協会保証付貸出金残高、シェア

### 青森県信用保証協会保証付貸出金残高



### 青森県信用保証協会保証付貸出金全体に占める当行シェア



当行は中小企業の円滑な資金調達に資するため、積極的に青森県信用保証協会の保証付貸出を推進しております。平成20年9月末の同協会保証付貸出金残高は1,104億円（一般保証1,072億円、特別保証31億円）であり、同協会保証付貸出金残高全体に占める当行シェアは43.9%とトップシェアとなっています。

特別保証とは・・・中小企業の安定した資金調達のために政府が創設した「中小企業金融安定化特別保証融資制度」のことで、平成10年10月から平成13年3月まで実施されました。特別措置として、一般保証とは別枠で行われた制度のため、通常の一般保証とは区別して管理されています。現在は制度の取扱いが終了しているため新規の取扱いがなく返済により残高は減少しています。

### 地方公共団体の制度融資への取組み状況

当行は、県や市町村の制度融資を取扱いし、地元の中小企業の皆さまに対し円滑な資金供給に努めています。

#### (主な地方公共団体融資制度)

##### 青森県スピーディー応援資金

県内の中小企業者の資金需要に対し、迅速な融資を行うことにより、地域経済の活性化や雇用に資することを目的としています。

平成20年9月末 取扱残高 33件 8億円

##### 青森県経営安定化サポート資金

企業倒産等により影響を受ける県内中小企業者の連鎖倒産を防止するとともに、長期的な景気低迷により資金繰りが悪化している県内中小企業者の経営の安定を図ることを目的としています。

平成20年9月末 取扱残高 80件 14億円

上記のほか、青森県新事業展開促進資金、青森県一般事業活動資金、市町村特別保証制度としての小口資金・事業活性化資金などを取扱っています。

(注) 青森県制度はメニューの大括り化・簡素化により、平成20年度から制度の統合・名称変更等が行われています。

中小企業長期経営安定資金・地場産業振興資金 一般事業活動資金

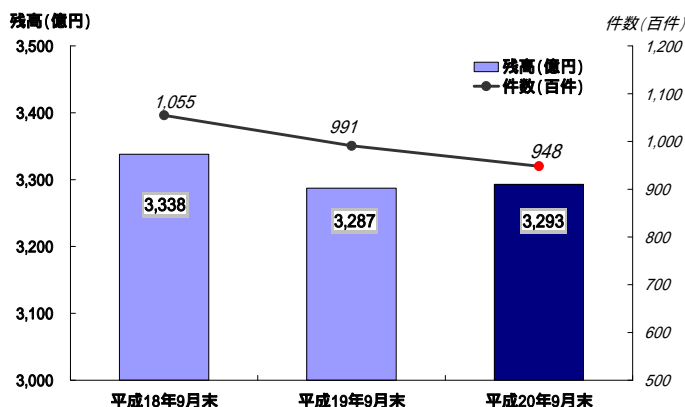
中小企業セーフティネット資金 経営安定化サポート資金

創業支援資金 新事業展開促進資金 等

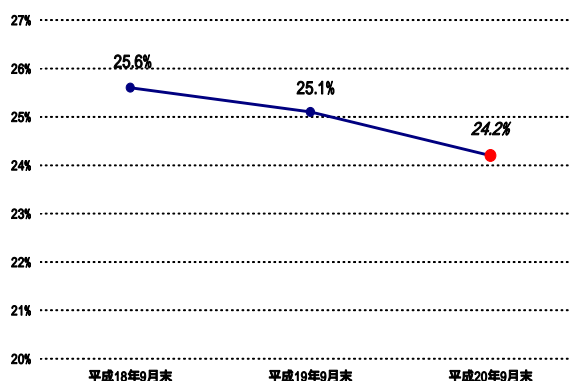


### (3) 個人向け貸出業務の状況

#### 個人ローン残高、件数



#### 貸出金残高に占める個人ローン残高、シェア

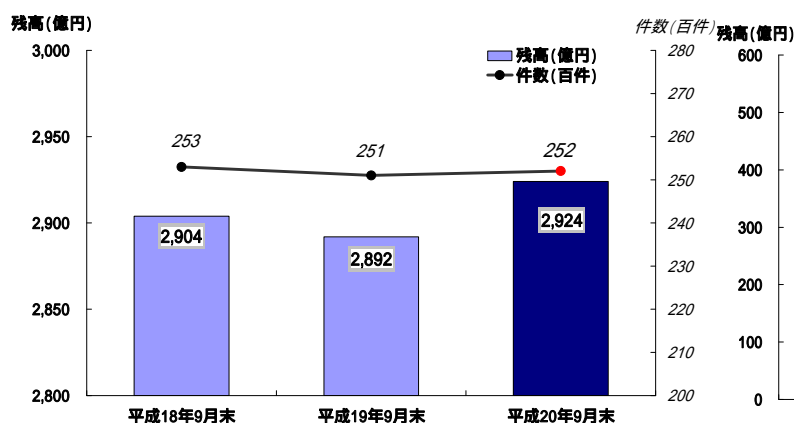


平成20年9月末の個人ローンの残高は、消費者ローンの落込みを住宅関連融資が補った結果、前年同月比0.2%増加し、3,293億円となりました。件数は同4.3%減少し、948百万件となりました。

個人事業主向け個人ローンを含みます。

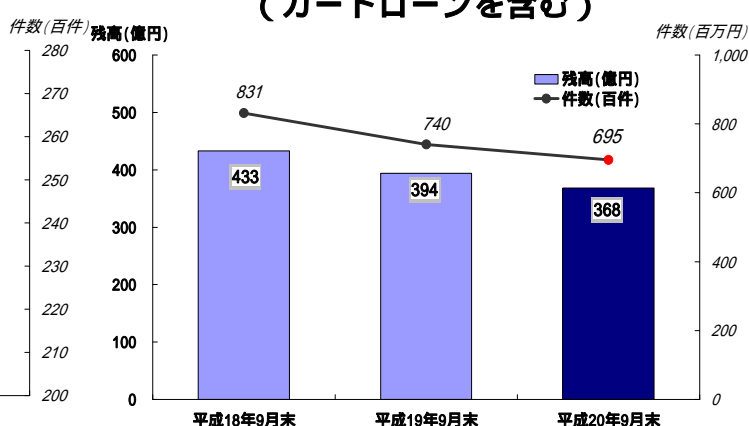
平成20年9月末の貸出金全体に占める個人ローン残高シェアは、前年同月比0.9ポイント減少し、24.2%となりました。

#### うち住宅関連融資残高、件数



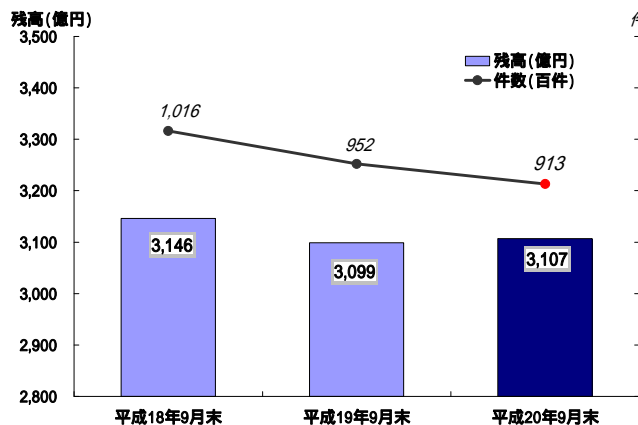
迅速回答が可能な商品の推進や柔軟な審査体系の構築により、平成20年9月末の住宅関連融資残高は前年同月比1.1%増加し、2,924億円、件数は同0.5%増加し、252百万件となりました。

#### うち消費者ローン残高、件数 (カードローンを含む)



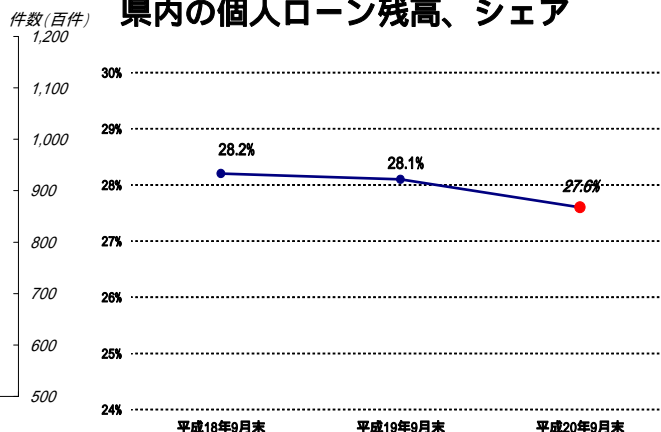
マイカーローン、カードローンの取扱いが減少したことから、平成20年9月末の消費者ローン残高は前年同月比6.5%減少し、368億円、件数は同6.0%減少し、695百万件となりました。

## 県内の個人ローン残高、件数



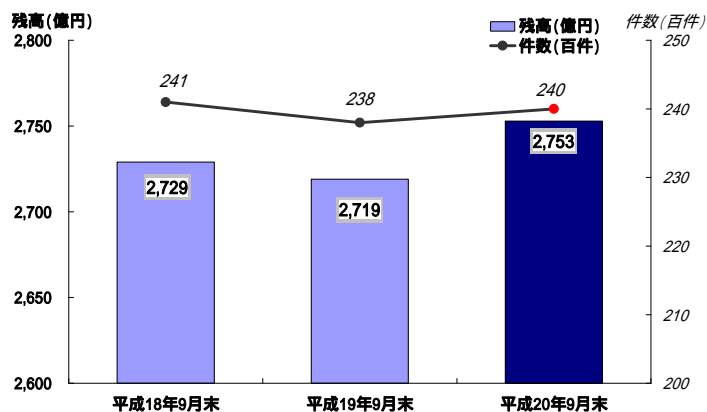
平成20年9月末の県内向け個人ローン残高は、前年同月比0.2%増加し、3,107億円、件数は同4.1%減少し、913百件となりました。また、平成20年9月末の県内向け個人ローンは、個人ローン全体の94.3%を占めています。

## 県内向け貸出金残高に占める 県内の個人ローン残高、シェア



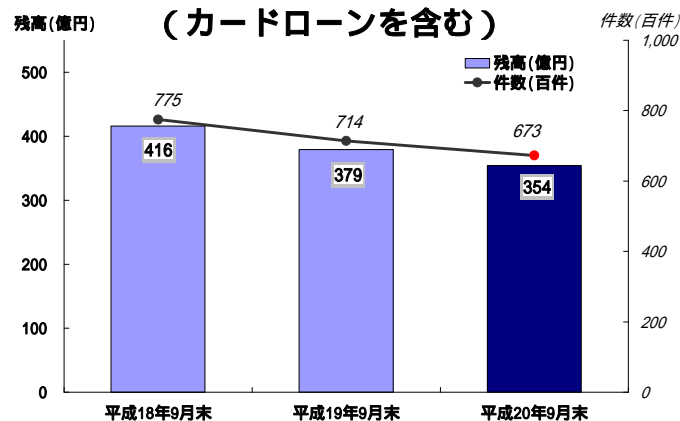
平成20年9月末の県内向け貸出金全体に占める県内の個人ローン残高は、前年同月比1.3ポイント減少し、27.6%となりました。

## うち住宅関連融資残高、件数



平成20年9月末の残高は前年同月比1.2%増加し、2,753億円、件数は同0.8%増加し、240百件となりました。

## うち消費者ローン残高、件数



平成20年9月末の残高は前年同月比6.4%減少し、354億円、件数は同5.8%減少し、673百件となりました。

## 個人向けローン商品の提供内容

マイカー購入や旅行・買い物など目的に合わせた資金計画のお手伝いをするため、マイカーローンやカードローン等のローン商品をご用意しています。また、「夢のマイホーム」の実現やご自宅のリフォームのお手伝いをするため、各種住宅ローン商品をご用意しています。

**代表的な消費者ローン・カードローン：マイカーローン、教育ローン、フリーローン ゆとり王、ツインカード、Aキャッシング**

**住宅ローン：スーパー住宅ローン、住実パワー、リフォーム大臣、担保無用の助、サポート500**

## 2. 地域のお客さまへの利便性提供の状況

### (1) お客さま接点の状況

#### 店舗等チャネルの状況

当行は、これまで地域のお客さまに均等なサービスを提供する全店一律営業体制による利便性提供を第一に考えた店舗展開を推進し、青森県内では最大の店舗ネットワーク網を有してまいりました。

しかしながら、お客さまのニーズや金融商品等の多様化が進む中、全店一律営業体制見直しが必要となってまいりました。

平成19年度より青森・弘前・八戸の3地区にて母店に事業性融資業務を集約化し、専門性の高いスタッフによるサービスレベルの向上を図りました。

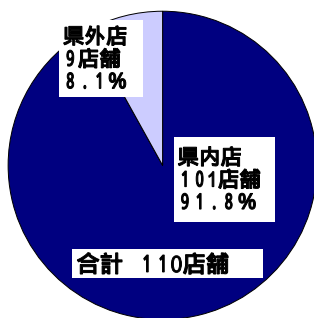
併せて、融資業務が軽量化された営業店は個人特化型店舗として位置付けをし、個人のお客さまのニーズに合わせ、ゆっくりと各種ご相談にお応えできる体制を整備し、各支店の役割を明確化する店舗体制の再構築に着手いたしました。

また、ATM（現金自動預払機）の設置についても、店舗ネットワーク網を補完するという観点から積極的な展開を進めてまいりました。

今後も当行の保有する「あすなるネット」、「AAIネット」、コンビニATM「イーネット」などの顧客手数料無料チャネルの効果的な活用策を検討し、お客さまの利便性の維持と、費用対効果を重視したATM展開を実施してまいります。

#### 店舗の状況

##### 店舗数、シェア（平成20年9月末現在）



県内店	101カ店	}	本店	1
県外店	9カ店		支店	94
			出張所	6

当行の全店舗110カ店のうち県内店は101カ店であり、全体の91.8%を占めています。

##### 店舗設置市町村数（平成20年9月末現在）

市・・・県内10市に設置。全80カ店設置。

町・・・県内22町のうち19町に20カ店設置

村・・・県内8村のうち1村に1カ店設置

県外・・・全9カ店

東京都 / 中央区 1カ店

北海道 / 函館市 3カ店、札幌市 1カ店

秋田県 / 大館市 1カ店、能代市 1カ店

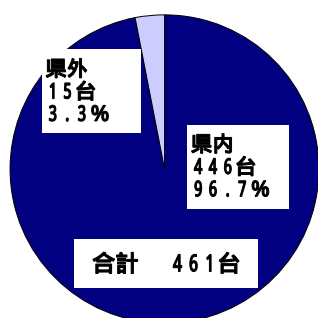
岩手県 / 盛岡市 1カ店

宮城県 / 仙台市 1カ店

## ATMの状況

### ATM設置数（平成20年9月末現在設置箇所及び台数）

	県内ATM設置数		県外ATM設置数		総ATM設置数	
	設置箇所	設置台数	設置箇所	設置台数	設置箇所	設置台数
店舗内	98	221	9	13	107	234
店舗外	174	188	0	0	174	188
小計	272	409	9	13	281	422
他金融機関幹事共同ATM	37	37	1	2	38	39
合計	309	446	10	15	319	461



\*平成20年9月末現在のATM設置台数461台(他金融機関幹事共同ATMを含みます)のうち、県内に設置しているATM台数は446台(同上)であり、全体の96.7%を占めています。

#### 《バリアフリーへの取組み》

店舗入口スロープ設置店舗(段差解消)	70カ店	} 合計 416台
車いす利用可能トイレ設置店舗	12カ店	
車いす利用可能ATM設置店舗	107カ店	
車いす利用可能店舗外ATM	165カ所	

### あすなろNET(平成20年9月末現在)

平成7年5月より、お客さまの利便性向上のため、当行と県内提携金融機関との間で他行ATM利用手数料の相互無料化を実施しました。これにより、通常時間帯(平日8時~18時)に当行のお客さまが提携金融機関のATMをご利用になった際、他行ATM利用手数料は無料となっています。

また、提携金融機関のお客さまが当行のATMをご利用された場合も同様にATM利用手数料は無料となります。

### コンビニATM「E-net(イーネット)」(平成20年9月末現在)

県内のサークルK、サンクス、ミニストップ、ファミリーマート、スーパーストアの合計41カ所の店舗に設置しています。

営業時間は平日7時から23時、土日祝日7時から21時となっています。

県外のイーネットATMでも当行ATMと同様の手数料にてご利用いただけます。

(全国8,907台 平成20年9月末現在)

### セブン銀行ATM(平成20年9月末現在)

平成19年3月19日、セブン銀行との提携を開始し、全国のセブン銀行ATMのご利用が可能になりました。

営業時間は平日7時から23時、土日祝日7時から21時となっています。

お引出・お預入の際は、平日8時から18時が105円、それ以外の時間帯は210円の手数料を申し受けますが、残高照会は無料でご利用いただけます。

(全国12,526台 平成20年9月末現在)

## 休日の対応状況

ATM（店舗内、店舗外、コンビニ）は休日に関わらず1年365日営業しています。

ATM利用時の障害問い合わせ、照会等については、コールセンター（ATM集中監視業務）にて対応しています。

## ATM提携の状況（平成20年9月末現在）

提携名称	県内設置状況	内 容
あすなるNET	H7.5.1～ 335カ所	県内全信用金庫、青森県信用組合、東北労働金庫、JAバンク青森の4業態8金融機関とのATM相互利用手数料無料提携（支払・残高照会）
アイ AAIネット	H12.4.3～ 11カ所	秋田銀行、岩手銀行とのATM相互利用手数料無料提携 秋田銀行3カ所、岩手銀行8カ所（支払・振込・残高照会）
ゆうちょ銀行提携(県内)	290カ所	(入金・支払・残高照会・相互送金)
クレジットカード会社等との ATM提携	21先	銀行系6、信販系8、流通系5、消費者金融系2

## ダイレクトチャネルの展開

### 個人のお客さま向け

「忙しくて銀行に行けない」というお客さまのために「<あおぎん>つないでネ！ット」をご用意しております。

この「<あおぎん>つないでネ！ット」では、お客さまのご都合に合わせて、テレホンバンキング・インターネットバンキング・モバイルバンキングで、「口座残高や入出金明細の照会」ならびに「お振込」「お振替」等の様々なサービスがご利用いただけます。

現在、対象サービスをご利用いただいたお客さまには、翌日の月額手数料を無料としております。（無料対象サービスは、一覧表の【得】表示のあるものとなります。実施期間は平成21年3月まで延長しました。）の実施や振込手数料が窓口でのお取扱よりも安価であることなど大変お得です。

インターネットバンキングでのネット上の情報漏洩・データの改ざんを防ぐため「SSL128ビット方式による暗号化」を施すなど、安心してご利用いただけます。

また、携帯電話をトークンとして利用する「ワンタイムパスワード」による不正アクセス防止機能を提供しセキュリティ強化を図っております。

インターネットバンキング																			
モバイルバンキング																			
テレホンバンキング																			
ご利用いただけるサービス	【得】 口座照会	【得】 振込	【得】 振替	【得】 振込・振替予約	【得】 定期預金・積立式定期預金 (お預入・お引出)	【得】 定期預金(お預入)	【得】 外国送金	【得】 外貨普通預金	【得】 外貨毛配	【得】 税金・各種料金払込み(ペイジー)	【得】 公共料金自動振替の受付	住所変更の受付	各種商品・サービスの相談						

### 法人・個人事業主のお客さま向け

「銀行に行く時間を他の仕事にまわしたい」「もっと効率的に仕事をしたい」というお客さまのために、各種E Bサービスをご用意しております。

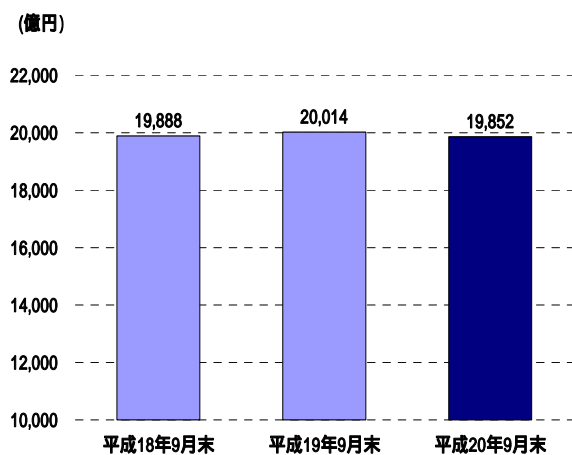
また、各サービスでは暗証番号での本人確認実施など、セキュリティについても安心してご利用いただけるようになっております。

特に、ご利用申込みが増えている『法人向けインターネットバンキングA B - w e b』においては、使用するパソコンに電子認証書を格納する「電子証明書認証方式」を導入し、お客さまの情報保護強化に努めています。

ANSERサービス & データ伝送サービス	お手持ちのパソコンから、お振込や総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
AB - web (法人向けインターネットバンキング)	インターネットを經由して、お振込や総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
FAX取引受付サービス	お手持ちのFAXから、総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
あおり ワイドネットサービス	売掛金等の代金回収業務を、貴社に代わって「あおりコンピュータサービス(株)」（当行関連会社）が行います。
コンビニ収納サービス	各種売上代金等を、全国の提携コンビニを通じて回収できます。

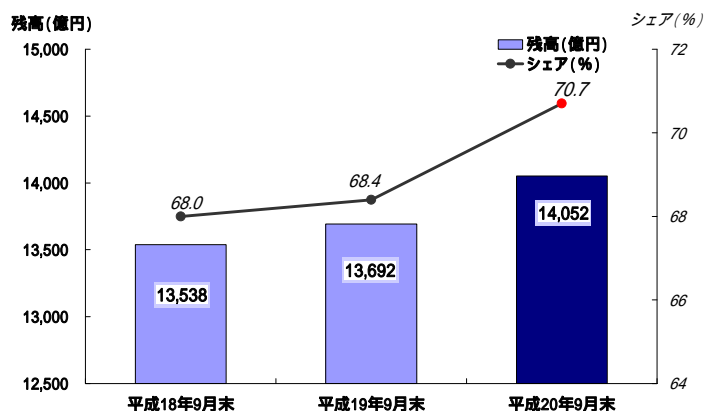
## (2) 預金業務等の状況

### 総預金残高



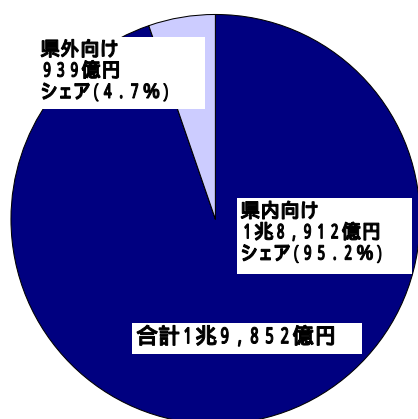
平成20年9月末の総預金(譲渡性預金を含む)は、前年同期比0.8%減少し、1兆9,852億円となりました。

### 個人預金残高、シェア



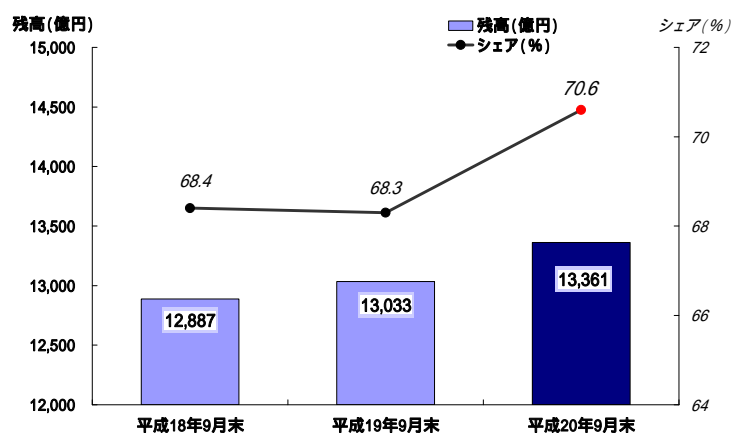
平成20年9月末の個人預金残高は、前年同期比2.6%増加し、1兆4,052億円となりました。また、預金全体に占める個人預金のシェアは、同2.3ポイント増加し、70.7%となりました。

### 県内の総預金残高、シェア (平成20年9月末)



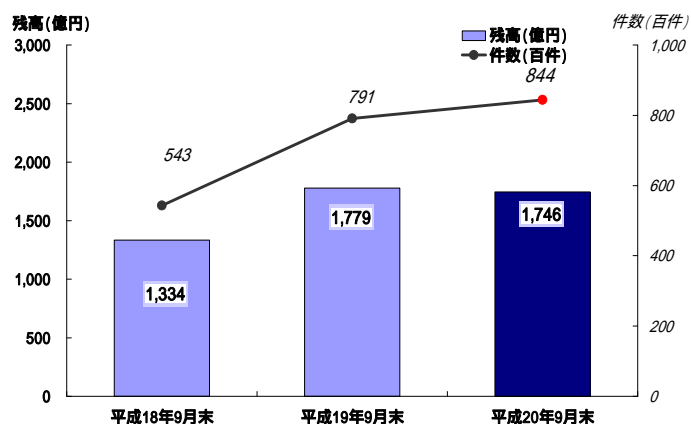
地元青森県内の総預金残高は、1兆8,912億円であり、預金全体の95.2%を占めています。

### 県内の個人預金残高、シェア



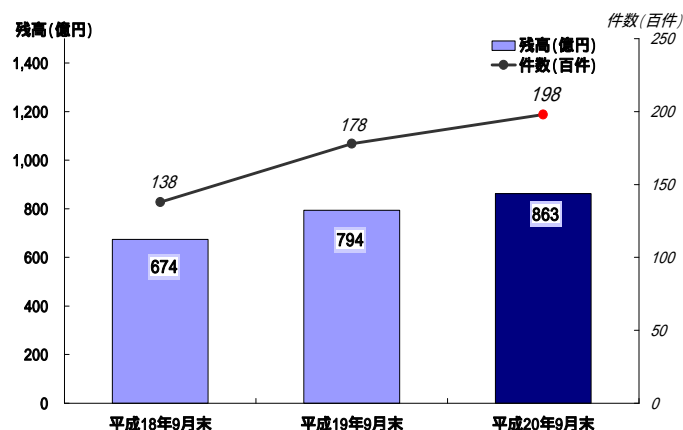
平成20年9月末の県内の個人預金残高は、前年同期比2.5%増加し、1兆3,361億円となりました。また、県内預金全体に占める県内の個人預金シェアは、同2.2ポイント増加し、70.6%となりました。

## 預り資産残高、件数



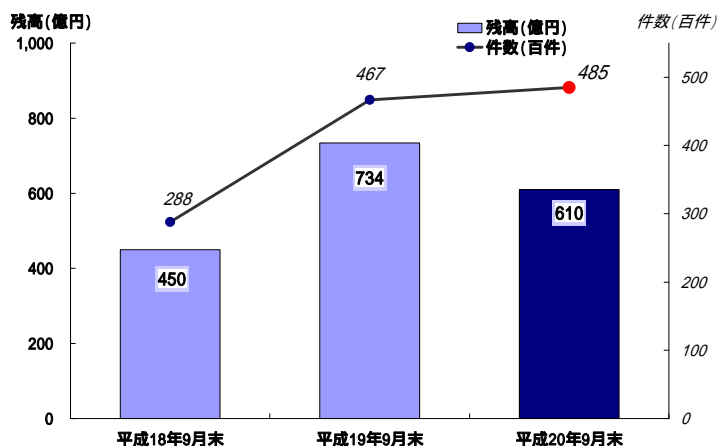
平成20年9月末の預り資産残高は、前年同期比1.8%減少し、1,746億円、件数は、同6.7%増加し、844百件となりました。

## うち公共債



平成20年9月末の公共債は、「個人向け国債」を中心に増加しました。残高は、前年同期比8.6%増加し、863億円、件数は、同11.2%増加し、198百件となりました。

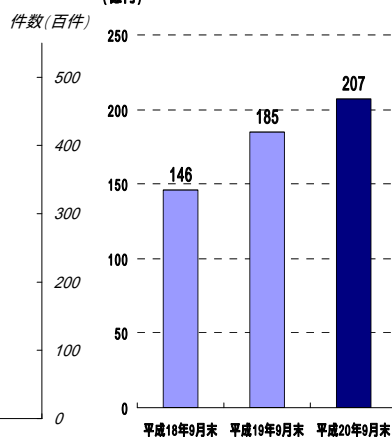
## うち投資信託



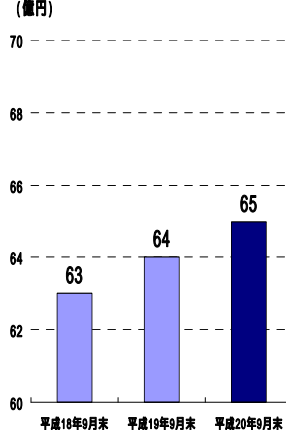
平成20年9月末の投資信託残高は、前年同期比16.9%減少し、610億円、件数は、同3.8%増加し、485百件となりました。

## うち個人年金・年金払積立障害保険

### 個人年金保険



### 年金払積立障害保険

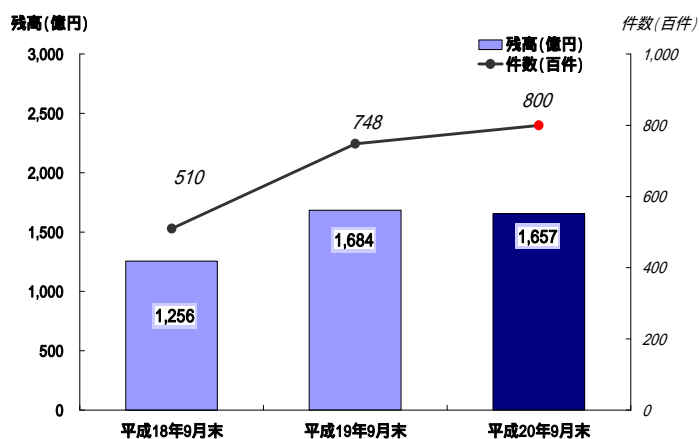


平成20年9月末の個人年金保険残高は、前年同期比12.0%増加し、207億円となり、年金払積立障害年金保険残高は、同0.5%増加し、65億円となりました。

残高については、初回保険料のみ計上しています。

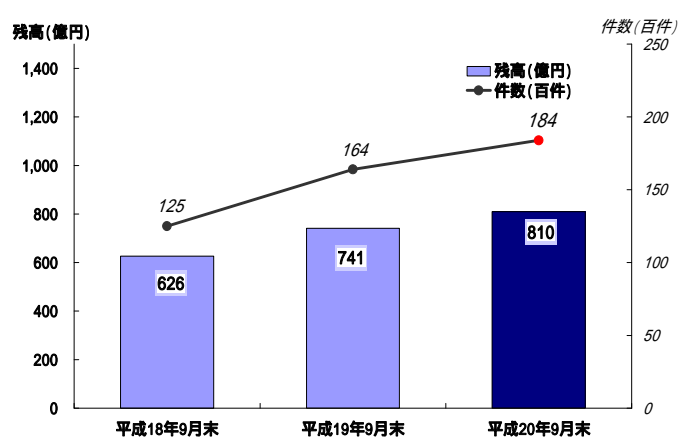


## 県内の預り資産残高、件数



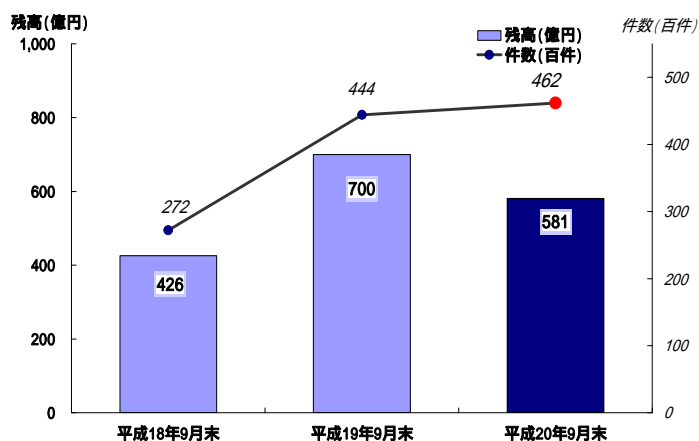
平成20年9月末の預り資産のうち県内分の残高は、前年同期比1.6%減少し、1,657億円、件数は、同6.9%増加し、800百件となりました。県内の預り資産は、預り資産全体の94.8%を占めています。

## うち公共債



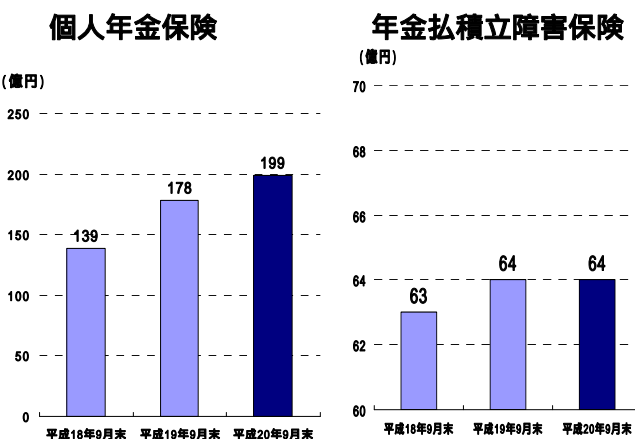
平成20年9月末の公共債のうち県内分の残高は、前年同期比9.3%増加し、810億円、件数は、同12.1%増加し、184百件となりました。

## うち投資信託



平成20年9月末の投資信託のうち県内分の残高は、前年同期比16.8%減少し、581億円、件数は、3.9%増加し、462百件となりました。

## うち個人年金・年金払積立障害保険



平成20年9月末の個人年金保険のうち県内分の残高は、前年同期比12.1%増加し、199億円となり、年金払積立障害保険の残高は、同0.5%増加し、64億円となりました。残高については、初回保険料のみ計上しています。

## 地域のお客さまへの利便性提供に資する取組み状況

当行では、お客さまお一人おひとりのご要望やライフスタイルに合わせた資産計画にお応えするために、魅力ある商品・サービスを各種ご用意しています。皆さまの毎日の暮らしや将来計画の実現をお手伝いするパートナーとしてお役に立ちたいと考えています。

### 預金商品 代表的な預金商品

#### 自由金利型定期預金（M型） スーパー定期

・最もお客さまに親しまれている預金商品。預入期間も1ヵ月～10年と幅広く設けられています。金利は市場実勢に応じて決定されます。

#### あおぎん 資産運用パック「みのり計画」

・「円貨定期預金」と「投資信託」を同時に申し込むことで、円貨定期預金の金利に特別金利が適用される資産運用商品です。

### 年金相談会、投資信託セミナー等の開催

年金相談会を県内7支店において、毎月1回開催しています。また、支店単位等で適宜お客さま向けの資産運用に関するセミナーを開催しています。

### マネーカウンセラーについて

当行では個人のお客さまの資産運用に関するご相談を承る「マネーカウンセラー」を県内17の本支店に配置しています。

「マネーカウンセラー」はファイナンシャル・プランニング技能士等の公的資格を持ち、専門の教育を受けた資産運用相談の専門担当者です。将来のセカンドライフへ向けて資産を少しでも殖やしたい、退職金の運用を考えているなど、様々なご相談に対応しておりますので、資産運用についての悩み・疑問がありましたらお気軽にお声掛け下さい。お客さまのお話をじっくり伺って、お一人おひとりに合わせたオーダーメイドのコンサルティングをさせていただきます。

## 「保険ラインナップ」の拡大

当行では、多様化するお客さまのニーズにお応えするため、「保険商品ラインナップ」の拡大を図っています。

生命保険商品では平成20年10月1日より医療保険・がん保険（各2商品、計4商品）を、損害保険商品では平成20年12月1日よりニーズ細分型自動車保険（1商品）の取扱いを開始いたします。

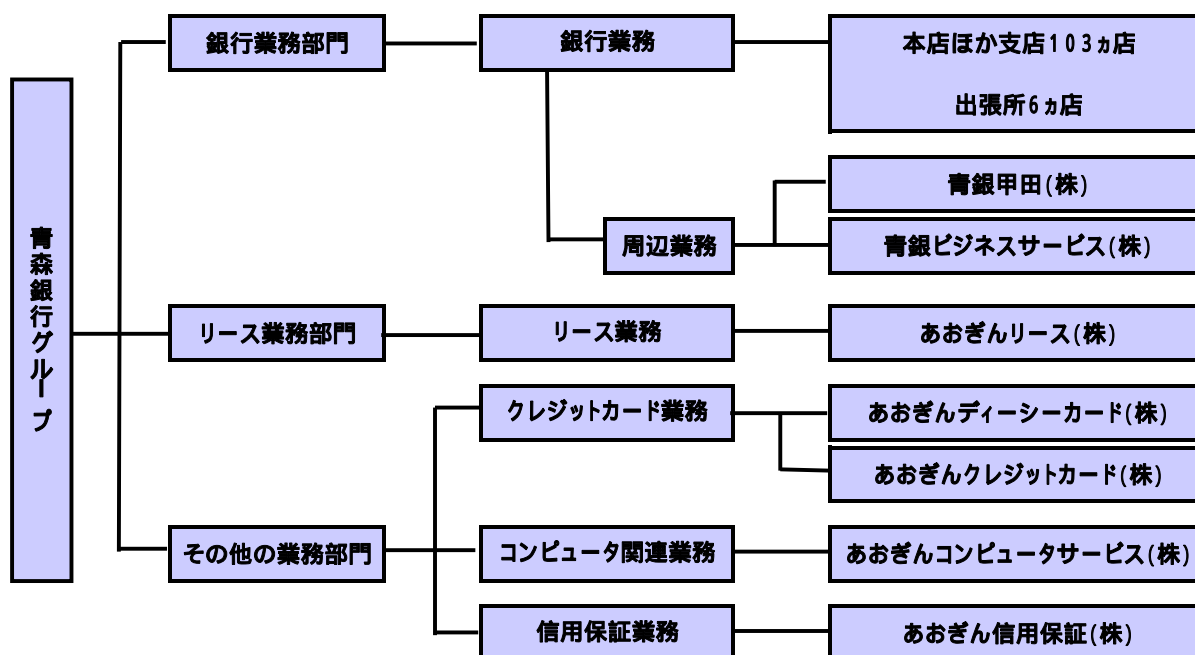
上記商品の取扱店舗については、現在の5店舗（本店営業部、佃支店、弘前支店、八戸支店、三日町支店）から今後順次拡大する予定となっています。

今後とも、お客さまの様々なニーズに対応すべく商品・サービスのより一層の充実を図るとともに、お客さまの利便性向上に努めてまいります。

## （3）その他

### 子会社等を通じた利便性提供の状況

青森銀行グループは、当行および子会社・連結子会社7社で構成され、銀行業を中心に、リース業務、クレジットカード業務などの事業を行ない、幅広い金融サービスを提供しています。



### 3. 地域経済活性化への取組み状況

#### (1) 地元企業に対する経営サポートの状況

##### 地元企業の経営相談等への取組み状況

##### 地域企業の活性化へ向けて「第6回ビジネス商談会」開催

法人のお客さまへ首都圏企業とのマッチング機会の創出を目的として、北東北三行（青森銀行・秋田銀行・岩手銀行）では、10月29日、東京流通センターにおいて第6回「ビジネス商談会」を開催しました。出展企業111社のうち、当行取引先は37社が参加し「食」「環境・暮らし」「テクノロジー」の各エリアに別れ、各社商品や技術のPRに努めました。首都圏の大手商社・百貨店のバイヤーを中心とした来場者数は、1,550名と昨年を上回り、576件の商談が行われました。取引先企業のビジネスチャンス、販売先の拡大を支援し、地域経済の活性化を目指しています。



##### 「医療機関向けセミナー」の開催

当行法人部内に平成18年2月に「医療・介護事業コンサルタントチーム」を設置し、情報提供機能の強化と経営問題解決に向けた支援強化を図りながら、安定的かつ円滑な資金提供活動に努めております。

その一環として、平成20年8月には、医療制度改革と診療報酬改定を踏まえて「地域で求められる医療機能について」と題し、医療機関向けセミナーを開催いたしました。医療介護事業者向けセミナーとしては、5回目の開催となり、県内外多数の参加をいただいております。

また、医療及び介護業界の最新動向を掲載した「あおぎんHOTレター」も毎月発行しております。



## **（財）青森地域社会研究所の活動**

（財）青森地域社会研究所は、昭和53年7月に、当行が創業100周年を記念して設立した地域型シンクタンクです。同研究所は、県内地域社会に関する経済、社会、文化、歴史等全般的分野についての調査研究や地域産業育成のための助成事業を行なっています。

同研究所は今年創立30周年を迎え、記念事業として地域課題論文を募集したほか、2月と7月の2回にわたり地域社会講演会を開催しました。

## **青森銀行研修所の活動**

当行研修所では、平成5年の当行創立50周年を機に、県内の全事業所、従業員を対象とした研修制度をスタートさせました。人材育成研修の企画・実施、セミナーの開催、研修講師派遣等の活動を行っています。

## 地元企業の再生への取組み状況

### 「企業支援室」による経営改善指導等

当行の企業理念である「地域のために お客さまとともに 人を大切に」のとおり、地域の発展なくして当行の発展はないとの考えから、経営改善を必要とするお取引先に対しては支援専担部署として平成15年4月に設置した「企業支援室」が中心となり経営改善に向けた支援・相談に積極的に取り組んでいます。

具体的には、企業経営者との面談を実施し、問題点・課題を共有するとともに経営改善計画の策定に深く関わりながら、経営者と一体となって経営改善に取り組んでいます。さらに、公認会計士・経営コンサルタント等外部専門機関との情報交換を通じながら、適時、適切なアドバイスを行えるよう体制も整え実施しております。

なお、平成20年上期の要注意先債務者の健全化等に向けた取組みでは、債務者区分のランクアップは12先の実績となっております。

### 政府系金融機関と業務協力提携

当行は、日本政策投資銀行、商工組合中央金庫、日本政策金融公庫の各政府系金融機関と相互の連携をより一層強化するため、業務協力に関する覚書を締結しております。

業務協力により、当行と政府系金融機関双方の業務特性を活かして、地域への円滑な資金供給を図り、地域経済の活性化に貢献してまいります。

## (2) 企業育成への取組み状況

### 第12回あおぎん地域産業育成助成金「エンジェル」を贈呈

当行では、地域産業育成の観点から、県内企業の新技术・新製品、新サービスの研究開発を助成金交付により支援する事業を行っております。第12回目今回は「2卵および分割受精卵移植による黒毛和牛双子生産技術の確立に関する研究」により有限会社小比類巻家畜診療サービス（東北町）、「トリジェネレーション・ハウスの整備および冬季ハウス栽培技術の確立」より常盤村養鶏農業協同組合（藤崎町）が、それぞれ選ばれました。これまで、19企業・1個人の20先に対し助成しています。



### ( 3 ) 地方公共団体の事業との関係

青森県内には、青森県を含め41の地方公共団体(平成20年9月末現在)があり、当行ではこのうち青森県をはじめ、県内全市(10市)と21町村のあわせて32の地方公共団体から指定金融機関の指定を受け、地域の中核金融機関として、公金業務を取扱いしています。

また、地域社会のよりよい環境づくりのため、地方公共団体、公社などへのご融資、地方債の引き受けを通じて学校、病院など公共施設の整備に協力するとともに、地方公共団体の収納・支払事務について、口座振替の推進および電子化等に積極的に取組み、地域住民への利便性向上に努めております。

さらに、当行の関連シンクタンクである(財)青森地域社会研究所では、地方公共団体の各種調査、研究事業等を受託しております。

#### 当行の指定金融機関シェア(平成20年9月末現在)

		全体	当行 (シェア)
合併前 (H16.6.30)	指定金指定先数	68(1県8市34町25村)	46(1県8市27町10村) (67.6%)
	人口(注1)	1,475,728人	1,336,957人 (90.6%)
	財政規模(注2)	648,663M	556,194M (85.7%)
合併後	指定金指定先数	41(1県10市22町8村)	32(1県10市17町4村) (78.0%)
	人口(注3)	1,436,628人	1,345,535人 (93.7%)
	財政規模(注4)	605,272M	551,678M (91.1%)

(注1) : 国勢調査(H12.10.1現在)

(注2) : 平成14年度市町村「歳入」決算額

(注3) : 国勢調査(H17.10.1現在)

(注4) : 平成18年度市町村「歳入」決算額

## 4. 地域への支援活動の状況

### 弘前大学での寄付講義

産学の連携を通じて、地域の発展と産業の振興を目的として県内の大学・専門学校と連携協力協定を結んでいます。

その中のひとつ、弘前大学では、昨年4月から寄付講座を開設しています。本年も人文学部の2年生以上を対象に寄付講座を開設しており、7月11日には当行の加福頭取も「県内経済の現状と地方銀行の役割」をテーマに講義をしました。



### 第16回「あおぎん賞」受賞者を表彰

県内の産業や文化の振興に貢献した個人や団体を表彰する「あおぎん賞」。第16回目の本年は「ながいも」「にんにく」など、県産農産物を使った製品・販売で、消費促進に大きく貢献した「有限会社柏崎青果（おいらせ町）」国内唯一フォアグラの飼育生産から製品加工までの技術を有し、代表取締役の桑原孝好氏が本県の地産地消を進める料理人として「あおもり食の達人」に認定された「株式会社ジャパンフォアグラ（青森市）」、また、特別賞として地域に根ざした教育活動で、幅広く本県の発展に貢献している「国立大学法人弘前大学」の3団体が受賞しました。



今までの受賞者は、40団体・7個人の47先となっております。



## 「小さな親切」運動による活動

当行では、「小さな親切」運動青森県本部の事務局として、毎年「春のクリーン大作戦」を実施しております。13回目となる今年も、県内各地で約10万人の参加者がそれぞれの地区の清掃に取り組みました。

これからも「環境の美化を進める運動」をテーマに「小さな親切運動」の一環として、春のクリーン運動に協力してまいります。



## 地域行事への参加、ロビー展の開催

四季を通して開催されるお祭りや催し物、スポーツ大会等には人とのふれあいが溢れています。当行では、地域の皆さまとのふれあいを大切にしたいと考え積極的に参加しています。

また、本支店のロビーを地域の皆さまの文化活動や作品発表の場としてご活用いただいています。

## 第69回「あおぎん講演会」の開催

当行では、地域貢献活動の一環として「あおぎん講演会」を開催しております。

本年は4月23日、ホテル青森（青森市）において、茶道裏千家第15代家元で、現在は大宗匠の千玄室氏が「前向きの姿勢で」と題して講演されました。

## 5. 創業130周年記念事業

青森銀行では、明治12年1月に第五十九国立銀行として創業以来、平成21年1月で創業130年を迎えることとなりました。これを一つの節目とし、役職員一同、地域の皆さまの永年にわたるご支援とご愛顧に対する気持ちを新たに、「地域のために お客さまのために 人を大切に」の企業理念のもと、地域の皆さまへの貢献に努めてまいります。

### 環境保護活動

#### ・「クールビズ」「ウォームビズ」の実施

実施期間 / 「クールビズ」 平成20年7月～8月

「ウォームビズ」平成20年11月～平成21年3月

冷暖房温度の管理により、省エネルギーを推進し、地球温暖化防止に貢献することを目的といたします。

#### 「クールビズ」開始日の風景



開店準備の様様



お客さまをお迎える様様

#### ・「住宅ローン環境サポートキャンペーン」の実施

住宅ローンご契約者に「グリーン電力証書」(\*)を贈呈することで、当行として地球温暖化防止に貢献するとともに、住宅ローンご契約者に環境貢献活動に参加いただくことを目的といたします。

(\*) 風力やバイオマスなどの自然エネルギーによる電気は「電気そのものの価値に二酸化炭素排出削減等の「環境付加価値」をもっており、この「環境付加価値」を「電気」と切り離して「証書」という形にしたものです。

## 社会貢献活動

### ・ボランティア活動の推進

実施期間 / 平成20年10月～

ボランティア活動を通じ、地域への人的貢献を行うとともに、幅広い視野と豊かな人間性を備えた人づくりに資することを目的といたします。

### ・「アクティブ・ワン運動」の展開

実施期間 / 平成20年10月～平成21年9月

創業130周年を一つの節目とし、地域への感謝の気持ちを、部店単位による自主的な人的貢献により表すものといたします。



浅虫支店職員による清掃活動



七戸支店職員による清掃活動

### ・金融教育事業の強化

実施期間 / 平成20年10月～

金融教育事業を幅広い年代階層に向け推進していくことで、地域社会へより一層貢献していくことを目的といたします。



東北町立東北東中学校の生徒さんによる職場訪問の様子

## 営業活動

### ・女性職員の制服改定

実施期間 / 平成20年4月～

地域に根ざした金融機関としてこれまで培ってきたお客さまとの信頼関係を重視しつつ、これまで以上に良好なコミュニケーション関係を構築することで皆さまから親しまれ、何かあった時にまず最初に相談される「ファースト・コール・バンク」でありたいとの想いを、新しい制服で表現いたしました。

### ・ホスピタリティ向上運動の実施

実施期間 / 平成20年11月～

お客さま接点を強化し、「ファースト・コール・バンク」としての地位を確立するという観点から、お客さまへのおもてなし向上を通じ、お客さま満足度を高めることを目的といたします。

この運動の一環として「ホスピタリティ研修」が始まりました。本研修は、お客さま対応力の向上を図るためのホスピタリティスキルの習得を目的とした実践的な内容となっており、12月下旬まで県内各地区および県外店で実施し、総勢約2,200名が参加する予定となっています。

### ホスピタリティ研修の風景



講義の様



笑顔の練習



挨拶チェック